

科目ナンバー	ANT-3-002-k			科目名	グローバル市民社会論		
教員名	西館 崇			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	本講義のテーマは「私たちの身近な暮らしと国内外の諸問題をつなげて学ぶグローバル市民社会論」です。日本国内外で起きている様々な出来事や諸問題は、私たちの身近な暮らしと密接に関連しています。講義では、私たちが実現すべき一つのグローバル市民社会像を、単に戦争のない状態(消極的平和)と定義するのではなく、環境問題や人種差別、貧困などあらゆるタイプの暴力が存在しない状態(積極的平和)と考え、主に前半部では具体的な諸問題と私たちの暮らしとのつながりを学びます。後半部では、様々な諸問題の解決と積極的平和の実現に向けて、私たち市民に何が出来るかを探求します。						
到達目標	本講義の到達目標は、(1)日本国内外で起きている様々な諸問題と自分の身近な暮らしとの関係を理解すること、(2)グローバル市民社会論における基本的な考え方や捉え方を理解すること、(3)グローバル市民社会の実現に向けて、自分自身に何が出来るかを考え、具体的に実践すること、の3点です。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	○
グローバル・マインド	○	主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	基本的にパワーポイントや各種視聴覚教材を用いた講義形式で行いますが、履修者数によってはクラス内でのグループ・ワークなどを取り入れる予定です。履修者はまた、学期中、講義外での「グローバル平和協力実践」を各自で、あるいはグループで行い、その報告(第14、15回でのプレゼンテーション)とレポート作成(A4で2枚から3枚)をすることが求められます。「グローバル平和協力実践」の活動例としては、私たちの住む地域内外におけるNPO・NGO活動、異文化交流、教育サポート、地域作り事業への参加、ボランティア活動などが含まれます。実践内容やその期間、方法等は自由ですが、履修者は自分が行った実践活動について、(1)自分自身と地域社会、世界をつなぐ上でどのような意味を持っているのか、(2)積極的平和の実現に向けて何が達成できたのか／出来なかったのか、そして(3)今後の課題とは何か、の3点について考察・検討することが求められます。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング	○	課題解決型学修	○		
受講条件 前提科目	特にありません。						
アセスメントポリシー及び評価方法	評価は次の配分で行います。 ・「グローバル平和協力実践」の報告:30% ・「グローバル平和協力実践」のレポート:20% ・期末試験:50% ※1「グローバル平和協力実践」の報告及びレポート内容の具体的評価基準については、講義中に適宜説明します。 ※2 期末試験では直筆ノートと配布プリントの持込みを許可します。きちんとノートをとったかどうかで期末試験の結果が大きく左右されるので注意してください。						
教材	関連文献や資料などを講義の際に適宜紹介、配布する。						
参考図書	・メリーウイン・アシュフォード著、松井和夫監訳(2008)『平和へのアクション101+2:戦争やテロのない世界の実現に向けて』かもがわ出版。 ・アルジャー・チャドウィック著、吉田新一郎編訳(1987)『地域からの国際化―国際関係論を超えて』日本評論社。 ・池尾靖志著(2012)『自治体の平和力(岩波ブックレット)』岩波書店。 ・上村雄彦編(2014)『グローバル協力論入門:地球政治経済論からの接近』法律文化社。 ・ガルトゥング・ヨハン著、高柳先男他訳(1991)『構造的暴力と平和』中央大学出版会。						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	イントロダクション 講義全体のテーマや概要、評価基準の説明などを行います。						
授業外学修内容	講義の最後に宿題を提示します。					時間数	3
2週目							
授業学修内容	消極的平和と積極的平和「□+□=平和。□を自由に埋めなさい」との問題が出たら、皆さんはどう回答しますか。本講義では「平和とは何か」について、特に「消極的平和」と「積極的平和」という考え方を紹介しな						

	がら考察します。		
授業外学修内容	講義の最後に宿題を提示します。	時間数	3
3週目			
授業学修内容	私たちの生活とグローバル市民社会(1) 戦争や紛争が、現代に生きる私たちの生活にとってどのような影響をもたらすのかについて学びます。		
授業外学修内容	講義の最後に宿題を提示します。	時間数	3
4週目			
授業学修内容	私たちの生活とグローバル市民社会(2) 前回に続き、戦争や紛争が現代に生きる私たちの生活にどのような影響をもたらすのかについて学びます。		
授業外学修内容	講義の最後に宿題を提示します。	時間数	3
5週目			
授業学修内容	様々な諸問題のつながり(1) 戦争や紛争と、貧困や環境問題、教育に関する問題等のつながりについて学びます。		
授業外学修内容	講義の最後に宿題を提示します。	時間数	3
6週目			
授業学修内容	様々な諸問題のつながり(2) 前回に続き、戦争や紛争と、貧困や環境問題、教育に関する問題等のつながりについて学びます。		
授業外学修内容	講義の最後に宿題を提示します。	時間数	3
7週目			
授業学修内容	積極的平和の創造へ向けたグローバル市民社会の挑戦(1) 個々人がそれぞれの身近な地域において、積極的平和の実現に向けて何が出来かについて、幾つかの実践例を紹介しながら考察します。		
授業外学修内容	講義の最後に宿題を提示します。	時間数	3
8週目			
授業学修内容	積極的平和の創造へ向けたグローバル市民社会の挑戦(2) 積極的平和の実現に向けた取り組みにおいて、特に女性の役割に注目し、幾つかの実践例を紹介しながら、女性だからこそ出来る活動とその意義について考察します。		
授業外学修内容	講義の最後に宿題を提示します。	時間数	3
9週目			
授業学修内容	積極的平和の創造へ向けたグローバル市民社会の挑戦(3) 積極的平和の実現に向けた取り組みにおいて、特に社会的弱者や子どもたちの生活を如何に守るかについて、幾つかの実践例を紹介しながら考察します。		
授業外学修内容	講義の最後に宿題を提示します。	時間数	3
10週目			
授業学修内容	積極的平和の創造へ向けたグローバル市民社会の挑戦(4) 積極的平和の実現に向けた取り組みにおいて、特に日本に住む外国人が直面している問題に注目し、多文化共生を実現するための方策や考え方について考察します。		
授業外学修内容	講義の最後に宿題を提示します。	時間数	3
11週目			
授業学修内容	積極的平和の創造へ向けたグローバル市民社会の挑戦(5) 積極的平和の実現に向けた取り組みにおいて、メディアの持つ影響力やその可能性について考察します。		
授業外学修内容	講義の最後に宿題を提示します。	時間数	3
12週目			
授業学修内容	積極的平和の創造へ向けたグローバル市民社会の挑戦(6) 積極的平和の実現に向けた取り組みにおいて、地方政府(市町村)や国、国際機関に何が出来て、何が出来ないのかについて、幾つかの実践例を紹介しな		

	がら考察します。		
授業外学修内容	講義の最後に宿題を提示します。	時間数	3
13週目			
授業学修内容	積極的平和の創造へ向けたグローバル市民社会の挑戦(7) 前回に続き、積極的平和の実現に向けた取り組みにおいて、地方政府(市町村)や国、国際機関に何が出来て、何が出来ないのかについて、幾つかの実践例を紹介しながら考察します。また本講義では、これまでの講義内容を振り返りながら、グローバル市民社会の可能性と限界について考えます。		
授業外学修内容	グローバル平和協力実践報告の準備をしてください。	時間数	5
14週目			
授業学修内容	「グローバル平和協力実践」の報告(1) 学期中に行った「グローバル平和協力実践」についての報告会を行います。		
授業外学修内容	グローバル平和協力実践報告の準備をしてください。	時間数	5
15週目			
授業学修内容	「グローバル平和協力実践」の報告(2) 学期中に行った「グローバル平和協力実践」についての報告会を行います。		
授業外学修内容	本講義全体を振り返りながら、自分の学びについて整理し、グローバル市民社会のあり方や意義などについて、自分の意見をまとめてください。	時間数	5
上記の授業外学修時間の合計		51	
その他に必要な自習時間		39	

Number	ANT-3-002-k	Subject	Global Civil Society		
Name	西舘 崇(Nishitate Takashi)	Year and Semester	S Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	This course introduces various global issues such as poverty, environmental problems, immigrant issues, human right, ethnic conflicts, and war from the viewpoints of "global citizens." It also examines the concept of "global society" comparing with that of national (or domestic) society and international society in order to explore the possibility of construction of global civil society. At the end of the course, students are expected to explain the essential features of global civil society and discuss the role of a global citizen in the future.				